

平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市蔵持市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの利用の許可に関する事 ・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関する事 ・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関する事 ・その他名張市が別に定める業務

2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	高齢者学級・救急救命講習等、住民のニーズを把握した講座が行われ、講座終了時には課題等話し合いもされている。サークル活動も活発で、後継者の育成をはかるなどさらに充実した生涯学習に取り組まれている。
地域づくりの拠点(住民の居場所として住民の活動の拠点)としての役	蔵持地区まちづくり委員会では親子を対象とした「くらっ子広場」を毎月2回開催して子育て支援を実施し、蔵持市民センターで主催する高齢者学級には多くの高齢者が集まるなど、地域とセンターが連携し、地域住民の交流と生涯学習を推進している。また、断水に備えた井戸の整備

割を果たしているか

や、レトルト食品生産など災害時の拠点としての機能も高めている。

3 施設設置者（名張市）の総合評価

蔵持市民センターでは駐車場不足が課題となっており、職員が駐車整理に追われる日も多く、その対応が喫緊の課題となっている。

また、災害対策を推進しており、本年度は地域で取れた筍の水煮のレトルトを試作し、その筍を使用した炊込みご飯のレトルト試作や、製造に関する研修会の実施などレトルト食品の製造を進め、地域の防災機能を高めている。各地区が必要とする防災備品を購入し、各地区の一次避難所に配備したが、今後も各地区の一次避難所と蔵持市民センターの連携と分担を図ることにより、更なる地域の防災機能向上を図りたい。